

# 恐ろしい 病気を知らう!

パート6



あけましておめでとうございます。  
今年も皆様と動物達にとって素敵な1年となりますようスタッフ一同こころよりお祈り申し上げます。  
さて今回は寒いこの季節、猫ちゃんがかかりやすい「猫下部尿路疾患(FLUTD)」について紹介します。

## 猫下部尿路疾患(FLUTD)

**猫**はその祖先が乾燥地帯に住んでいたため、水分を効率よく使い、濃縮した尿を排出する仕組みになっています。このため、猫は犬に比べて泌尿器の病気にかかり易くなっているのです。

FLUTDとは、膀胱炎、尿石症など、膀胱から尿道にかけて起こる病気の総称ですが、中でも一番深刻なのは、尿道に結石や砂粒状物質(結晶や脱落した上皮細胞)が詰まって排尿ができなくなる事です。完全に尿道が閉塞して閉まった場合は、3日で尿毒症から死に至ります。

### <原因>

- ①尿の酸性化
- ②尿量の低下と濃度の上昇
- ③過剰なミネラル(マグネシウムやカルシウムなど)を含む食事。



### <症状>

以下のような症状が現れた場合はお早めにご相談ください。

- ・排尿回数が増える
- ・尿に血が混ざる
- ・排尿姿勢をとると尿がなかなか出ない
- ・トイレ以外のところで排尿してしまう
- ・元気、食欲がなく、嘔吐する(尿毒症が疑われ、危険です)

### <予防>

トイレを我慢することのないよう、トイレはいつも清潔にしておいてください。お水は新鮮なものがいつでも飲めるようにしておいてください。

パッケージにFLUTD/FUS対応などの表記のある、適度にミネラルが抑えられたフードを与えましょう。また、この病気は一旦回復しても再発しやすいのが特徴です。ご相談の上、適切な処方食を続けると良いでしょう。